

## 常磐小学校の再編についての保護者アンケート（結果報告）

### 1. アンケートの概要

(1) 目的：6月21日に開催しました保護者説明会の内容について、各ご家庭での意見を改めてお聞きするため、保護者アンケートを実施しました。

(2) 対象：常磐小学校区保護者

(3) 期間：7月21日（金）～8月1日（火）

(4) 方法：WEBアンケート

(5) 回収結果：

	配布数	回収数	回収率
在校生保護者	11	8	72.7%
未就学児保護者	6	3	50.0%

※回収数には「意見なし」の回答も含まれます

(6) 設問内容 ①6月21日の説明会において、常磐小学校の再編方針(案)「令和7年4月に朝日小学校と再編（指定校変更は行わない）」として説明させていただきました。今回の内容について、ご家庭での思い・ご意見をお伺いします。

②今回の方針(案)では、今年の秋ごろに「学校再編準備委員会」を設置し、学校の先生を交えて、調整事項・諸問題などの検討を予定しています。今後進めていくにあたり、不安に思っていること、課題を感じていることなど、ご自由にお聞かせください。

## 2. アンケートの結果・教育委員会の考え方

① 6月21日の説明会において、常磐小学校の再編方針(案)「令和7年4月に朝日小学校と再編（指定校変更は行わない）」として説明させていただきました。 今回の内容について、ご家庭での思い・ご意見をお伺いします。		
No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年4月末の常磐小PTAとの意見交換以降、何の動きがない中でいきなり令和7年度再編案が出てきたように感じています。どのようにその判断に至ったのか経過や根拠をお示しください。</li> <li>・一部の子どもたちの本意ではなく、このまま進めていくことは不本意である。とても繊細な問題でもあり、行政が進める上で町は出来ないと言頭ごなしに伝えるのではなく、様々な取り組みを経てこの再編に対応すべきである。突然3年前に令和6年度と再編案を提示してきたことも、きちんと経緯を住民へ説明すべきである。3校同時再編ならば、令和11年度で良かったのでは。</li> <li>・指定校変更の案は、在校生側保護者が撤回を求めたにも関わらず、令和7年の再編に応じなければこれを進めるとする点や、それを記載することで町の意図で再編を進めたいという事が読み取れます。</li> <li>・なぜ急に令和7年度と提示してきたのか、その経緯を説明すべきだ。</li> </ul>	<p>令和5年2月から3月にかけて、常磐小学校区の区長、保護者と意見交換を行わせていただきました。それ以降保護者の方々から、学校再編について決定していること、まだ決まっていないことは何なのか教えて欲しいとの意見をいただきました。それを受け、4月28日のPTA総会後の意見交換の場において、決まっていることは「学校再編（統廃合）に向けて取り組むこと」、また今後決定に向けて取り組んでいることは「再編のスケジュール」「指定校変更の検討」であることをご説明させていただきました。令和6年再編、令和11年再編、3校同時再編については、あくまでご提案という形でございました。</p> <p>また、4月28日の中では、PTA主体で行った保護者アンケート結果もお聞きしながら意見交換を行いました。糸生地区での意見集約や指定校変更についての賛否がある中で、「学校を移るのであればみんなで行きたい」「再編を判断するためのスケジュールを示して欲しい」「子どもたちが少なくなるまでどこかで線を引いて欲しい」との意見を頂きました。</p> <p>これらを踏まえ、教育委員会としまして6月21日の説明会での検討案として再編までのロードマップをお示ししながらご説明させていただいたところです。未就学児保護者や在校生保護者それぞれで指定校変更を希望している方がいること、令和6年4月には第1子新入生がいないことなど、全員で学校を移るタイミングとしては、令和7年4月が最短・最良であると判断いたしました。</p> <p>説明会では、〔案①：今回のご提案〕〔案②：これまでのご提案〕を併記・比較し、両案の考え方が伝わるような資料とさせて頂いたものです。</p>

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
2	<p>・3校同時再編と説明があり、糸生地区の考えを確認してもらうよう町に依頼していたが、その返答がきちんとなされていない。(この時の説明会では、糸生小PTA会長の意見のみを提示してきたが、それで良いと思っているのであればおかしな話だ)</p> <p>・再編案を受け、一度は再編もやむなしと受け入れようとしたが、家族で話し合い、やはり反対という結論にいたりました。糸生小への提案がPTA会長のみの意見であること。(せめて糸生地区区長、未就学保護者に聞く時間もあつたはずなのに、たった一人の意見を糸生小の意見というのはおかしい)</p> <p>・新しい再編案には反対です。理由は、今年2月や4月末の懇談会に於いて、朝日、常磐、糸生の3校同時再編に向けて各地区と話し合いを進めていく、と町教委が繰り返し述べていたにも関わらず、なぜ1ヶ月半後の6月に、令和7年度の常磐小単独再編案が性急に提案されたのかについて戸惑っています。また、2月の常磐小校区の懇談会記録には、教育委員会の考えであるが、懇談会でもそのような意見も出ているので、両校との話し合いの中で決めていきたい、とあります。朝日や糸生と話し合いを行った結果、合意が得られなかったというのなら方針を転換する理由になると思いますが、糸生小のPTA会長の個人的な意見だけ聞き、他の保護者など糸生地区の意思確認を何ら行わないまま、町教委が提示していた3校同時再編の方針を撤回し、令和7年度の常磐小のみの再編案を性急に提示されたのか理由が分かりません。</p>	<p>今回、前述のとおり令和7年再編とご提案させていただきましたが、令和7年としたことで糸生小学校との3校同時は期間的に難しいと判断いたしました。理由としては、糸生地区では令和4年10月に2回目の懇談会を開催しておりますが、今後の協議には様々な方々から意見を聞く必要があるため、再編の前倒しは全くの未知数であり1年程度はかかると予想されます。もし協議に入っても、前倒しの確約は必ずとれるものではありませんし、大幅な前倒しも見込めないと考えられます。その間、令和7年度の方針案に向けての再編準備が出来なくなってしまう。</p> <p>一方で、常磐小の令和7年度の方針案も「子どもたちが少なくなるまでどこかで線を引いて欲しい」との保護者の意見も考慮しますと、3校同時再編は難しい判断となりました。</p> <p>このことから、糸生小学校のPTA会長と意見交換をさせていただきましたが、その意見を糸生地区の総意として考え、3校同時再編は出来ないと判断した理由とは考えおりません。その点につきましては説明不足で申し訳ありません。</p> <p>昨年の常磐地区で出生数は0人でした。つまり令和11年度に常磐小学校へ入学する子どもはいないこととなります。人口減少対策に対して町への批判はありますが、指定校変更を認めないとしても常磐小学校の児童数は少なくなり、その時点の子どもたちはさらに寂しくなります。それまでに少しでも早く対応すべきという点も要因の一つです。</p>

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
3	<p>・先に示されていた3校同時再編の方針は、糸生小校区の懇談会でも要望が出ていたことについて、令和5年2月以降、常磐小保護者・区長の懇談会記録としてホームページでも公開されており、朝日地区、糸生地区の住民や保護者にも周知のことです。今回の「糸生小PTA会長の個人的な意見だけは一応聞きました」という進め方は、さすがにまずいのではないのでしょうか。そのような進め方をしていることが知れ渡ると、町教委の見識に疑問符がつくだけでなく、個人的な意見を述べた糸生小PTA会長の地域でのお立場が悪くなるのではと心配になります。それらを踏まえ、次の代案を提案します。「今後1年間をかけて朝日・糸生両地区との協議を進める（例えば令和8～9年の3校同時再編の前倒しを具体的に検討する）」「他地区の合意が得られない場合は、令和8年度以降の常磐小の先行再編も視野に進める」</p>	<p>糸生地区での説明会などにおいて、3校同時再編の要望はありましたが多数あったわけではありませんでした。ホームページ上で公開はされていますが、まだ将来の話であり区民の関心は低いと感じています。そのため、今年2月～3月でお話ししていました3校同時再編については、糸生地区のお気持ちも考慮し早くても令和9年度からの検討が望ましいと考えていました。その合意が得られなかった場合、令和9年度以降の常磐小の先行再編は、令和11年度予定している糸生小との期間が短くなり、短期間で再編が続くことも望ましくないと考えます。</p> <p>重要なのは保護者の気持ちであると考え、お気持ちも十分理解できますが、これから常磐小学校へ新しく入学する予定の方々のお気持ちも汲み取って頂きたいと思います。</p>
4	<p>・元々準備に2年かかると言っていたのに、1年半でやるというのは急いだ分の不利益を子供や教職員に負わせるという姿勢ともとれます。</p>	<p>再編準備に2年程度必要と説明していましたが、1年目については、校名・校章・校歌など、新しくなる場合の準備に必要な期間であると考えています。2年目の1年間をかけて、児童交流などを主として学校間の調整を行うことが望ましい進め方としています。常磐小学校の場合、なるべく早くと考え1年目の可能な時期から早めに取り組みますが、子供や教職員に不利益を負わせるような進め方は行いません。</p>

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
5	<p>今回の再編案については非常に残念です。残念というのは3つの意味合いがあります。(1)再編に伴う町教委の進め方が残念(2)素晴らしい教育環境である常磐小学校をなくしてしまうことが残念(3)地域から小学校がなくなることが及ぼす影響について何ら議論がされておらず残念、という点です。</p> <p>(1)これまでの町の進め方で地域や保護者間を二分する結果となりました。指定校変更、スクールバス、体操服購入補助などの案を提案するなど、小学校統合に関しての「議論の本質」が何かを見失わせる提案で、非常に残念な方策であったと感じています。これまでの合意形成を得るためのプロセスについて、町としてどのように評価しておられるのかお聞かせください。</p> <p>(2)子どもの教育に対する考え方は、各ご家庭の価値観が大きく影響するため、どれが正解というわけでもありませんし、様々な意見があって当然だと思いますので、この点においては議論するつもりはありません。大きい学校がよいと思う保護者の方もいて然りと考えています。</p> <p>(3)地域から小学校がなくなることが及ぼす影響については、他の地域の調査などがたくさん報告されています。CiNiiで「小学校 統合 地域」で検索すると実に95件の論文が出てきました。「学校 統合 地域」で検索すると717件にもなります。これだけ先行研究があるということは、小学校が地域からなくなること、住民の生活に影響を及ぼすことがあるということが考えられます。もちろん、この点は地域の住民側としても考えなければならぬことです。学校再編を進める町の責任として、地域住民の生活に及ぼす影響をどのように分析しておられ、それらの対策についての案をお示しください。</p> <p>・町の進め方に不信感を大きくした中で、小学校がなくなった時の常磐地区の未来を考えた時、区が被る不利益が大きいと思いました。また、学校跡地の重要案件にも関わらず、いまだになぜ一度も担当の課が来られないのか。</p>	<p>(1)令和4年5月に行いました地元説明会(全体会)の中で、いろいろな立場の方から意見を聞いてもらいたいと意見を頂きました。その後、在校生保護者、未就学児保護者、区長と回を重ねて意見交換を行ってまいりました。その結果、それぞれの立場の方々の要望などを聞いてきたことをご指摘のように感じられているのだと思います。常磐小学校は児童15名の11世帯という少数世帯ですので、意見が分かれることがより鮮明に現れてしまうことも事実です。令和4年度以降、常磐小学校区をはじめ他の学校区においての議論を踏まえ、4月28日のPTA総会後にも申しましたとおり、「学校再編に向けて取組む」ことをお伝えしております。議論を進める中で、保護者の方々などからの具体的な質問やご意見に対してはしっかりお答えするべきだと思本質と併せて考え方を示してきたつもりであります。他の自治体でも同じような問題が起きていることも聞いておりますので、反省すべきところはしっかりと反省しながら、町全体の学校再編に取り組んでいきたいと思います。</p> <p>(2)(3)今回は、学校教育環境検討委員会の提言を受け、子どもたちの教育環境を優先に考えております。従来から学校がなくなることが及ぼす影響については、説明会などでも十分認識していることをお伝えしております。しかしながら、現時点で具体的な対策をとれるかという点と難しいことでもあります。廃校舎を含めたまちづくりは、社会教育や福祉、地域交流など選択肢で期待されるのは間違いありませんが、選択肢が多いことと効果を生むということは別であります。これまでのご説明にもありましたとおり、まちづくりの観点からは、跡地活用検討委員会で協議して参りたいと思います。また現在越前町では、第二次総合振興計画(平成27年度～令和7年度)に基づきまちづくりを推進しています。来年度から第三次総合振興計画策定に向けて動き出しますが、常磐小学校だけではなく、今回の学校再編に伴う地域に及ぼす影響を踏まえ、地域の方々の知恵をお借りしながら、何が一番賢明なのか見極めながら計画に盛り込んでいく必要があると思えます。</p>

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの事以外にも、小学校が担っていた地域との繋がりをどうするのか、何かしら対応して行く必要があると思う。</li> </ul>	<p>現時点で、まちづくり担当課（企画振興課）が、具体的な施策を提示することは出来ませんが、重要課題としてお互い認識しております。一朝一夕では成し遂げられませんので、引き続き皆さんご協力をよろしくお願いいたします。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>人数が少ないことをメリットとあげる国や有識者が多いことは、教育に携わる者ならご存知とは思いますが、これに逆行する形で再編に取り組むのはなぜでしょうか。その事実を超えるようなメリットがあるか、データがあればぜひ見せていただき、保護者にわかるように伝えていただきたいと思えます。</li> <li>小規模では学べないことや成長が難しくなる部分があり、仕方のない事だと思う部分もあるが、きめ細やかな指導など大きなメリットもあったはずなので、残念に思う部分が多い。</li> <li>効率化だけでなく、子どもたちの多様な可能性を伸ばせる環境を作る事を考えて、色々な形の教育環境を用意しておくなどを考えて行かなければ、20年後、30年後の将来が難しくなるのではと思う。</li> </ul>	<p>小規模校のメリット・デメリットは当然ながらありますので、どちらが勝るといえるデータはありません。現在、町内の小規模校ではそれぞれの学校が持つよさを活かしながら創意工夫し、小規模校としての課題を補う努力をしています。宮崎小学校や織田小学校などは1学年20人前後の小規模校であり、それを実践していると考えております。</p> <p>しかしながら、常磐小学校の規模では、国の資料によりますと過小規模校に分類されることとなります。常磐小学校の先生方のお力添えはありますが、学校の努力だけでは解決することが難しい課題もあります。</p> <p>学校教育は、子どもたちに「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」をバランス良く身に付けさせることにより、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために必要な「生きる力」を育むことを目的としております。そのためには、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることはもちろん、様々な意見や考え方を持った仲間と交流したり議論することなどを通して、思考力や判断力、表現力を身に付け、多様な人間関係の中で社会性を身に付けていくことも大変重要です。常磐小学校では出来ないということではありませんが、子どもたちの可能性をより広げるために、課題の根本的な原因である学校の規模を一定の大きさにすることにより、小規模校の教育環境を充実させることが必要であると考えます。</p>

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは現状のまま常磐小で学びたいと言っている。</li> <li>・当初の再編時期よりかなり早まったため戸惑いはある。</li> <li>・元々は令和6年4月の再編を希望していたが、間に合わないので最短の令和7年4月の再編を進めて欲しいです。</li> <li>・子どもは常磐小がいいと言っています。でもこれだけ子どもの人数も減っていけば仕方ないと思っています。この決定で進めてもらえれば良いです。</li> <li>・10年以上前から再編の話が出ていたのもっと早く進めて欲しかったと思います。</li> <li>・常磐小というだけでいじめにあってきた子どもが何人かいました。</li> <li>・指定校変更はしないということには安堵いたしました。</li> <li>・今年の上学期からもっと朝日小との合流を増やしてもらえたらと思います。</li> <li>・再来年に閉校式をきちんとやって頂けたらと思います。</li> <li>・お互いの妥協案として良いと思う。</li> <li>・令和7年4月再編の方針に従います。</li> </ul>	<p>保護者の皆さんにはご苦勞をおかけして申し訳ございません。</p> <p>再編の時期に関わる保護者にとっては、負担が生じるかと思いますが、一定規模の学級を求める保護者も多く、学校や保護者、地域の方、皆さんと一緒に新しい学校づくりを目指すことにご協力をお願いします。</p>

② 今回の方針(案)では、今年の秋ごろに「学校再編準備委員会」を設置し、学校の先生を交えて、調整事項・諸問題などの検討を予定しています。今後進めていくにあたり、不安に思っていること、課題を感じていることなど、ご自由にお聞かせください。

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きく環境が変わる事は子どもたちに負担はあるため、移行に向けた丁寧な支援はして欲しい。</li> <li>・交流など予定していると聞いているが、子どもにとって無理のないよう、拒否反応が出ないよう、いろいろな方法を考えていただきたい。</li> <li>・再編された後の支援も子どもたち一人一人に合わせてやってほしい。</li> <li>・出来るだけ早く詳細な予定を示して欲しい。</li> <li>・運動会やマラソン大会を朝日・常磐合同で行うという話もあったが、それが良いのか、常磐小最後の行事として常磐だけで行うのが良いのか分からない。</li> <li>・朝日小との交流会の頻度はどの位なのか。保育園の時の繋がりもあるので、できるだけ回数が多い方がよい。</li> <li>・子どもに再編の話をしたところ、朝日小に行くことになったら僕は学校に行かない、と言ってます。そうならないよう、私たちも再編したら良い事もあると伝えてはいます。どうしても「今は常磐小がいい！」の一点張りなので、これから1年半かけて前向きな気持ちになれるよう、朝日小との交流をどんどん増やしてほしいです。できれば、案にも書かれていたように、先生方も一緒に朝日小へ異動して頂けると有難いです。</li> <li>・基本は小学校存続なのですが、設置時期は令和5年の秋というのを除き、意見させていただきます。交流は月1回では不足だと思います。合同体育など授業でも先生の介入が少ない形で、グループで子どもたち同士の会話ができるようなプログラムを、再編時期が近づくにつれて月3回など徐々に増やす方法がよいと考えます。</li> </ul>	<p>昨年度、常磐小学校と朝日小学校で児童交流を行っております。学年によりませんが、一緒にドッチボールなどを行い、子どもたちからは「楽しかった」との声もあったことを先生方から聞いております。今年度も学校再編の有無にかかわらず、一緒に校外学習へ行くなど学校側で企画しています。</p> <p>説明会でもご説明させていただきましたが、学校再編が進めば、給食や体育、授業や学校行事、1日生活など、段階的に交流回数を増やす必要があると考えますし、特に来年度からは1年を通してのプログラムを考えなければなりません。また、ご希望があれば保護者の見学も学校側と検討しております。</p> <p>学校再編を進めてきた他の自治体からも同じようなご意見やご心配があったこととお聞きしておりますが、その後の評価としては「再編して良かった」などの声も多く聞かれているということです。子どもたちの力を信じていただきたいと思います。</p> <p>また、再編後の子どもたちの支援のために、常磐小学校の教職員を朝日小学校へ配置するなどの支援も行います。</p>



No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝日小のクラスの中で一緒に授業を受けるなど合流を増やして、1日中朝日小に登校する日などを設けて、友達と合流の場を多くしてもらいたいと思います。</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>体操服など持ち物が違う問題はどうか。そこから些細な事でいじめにならない配慮をお願いします。</li> <li>学用品に関しては再編に必要なすべてを無条件で補助していただきたい。</li> </ul>	<p>体操服などの学用品は一緒に持ち物として使用するべきだと思います。</p> <p>購入補助などの詳細な内容については再編準備委員会の中で検討していきます。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝日小はいじめや不登校がある。各学年の状況説明をお願いしたい。</li> </ul> <p>不登校の原因としては、学校にかかわることや家庭にかかわること、本人にかかわることなど様々であり、それらが複合的にかかわっていることも少なくありません。朝日小学校では、登校しぶりが見られた場合は保護者と連携を図りながら速やかに関係者が情報を共有して、組織的できめ細かい対応を心がけています。</p> <p>いじめや不登校を未然に防ぐためには、通うのが楽しい学校であることが何より大切であり、そのためにも対話的で深い学びを実現するための授業改善や、協働的な態度を育む特別活動、自己肯定感を育むポジティブ教育等の取り組みを推進しています。</p> <p>なお、いじめや不登校の学年別の状況については、憶測や噂話につながることもありますので、具体的な説明は控えさせていただきます。</p>	<p>〈いじめについて〉</p> <p>令和3年度の朝日小学校における児童1,000人あたりのいじめの認知件数は、越前町内や全国の小学校に比べると大きく下回っています。令和4年度については、全国の調査結果が発表されていないので比較することはできませんが、その傾向に変わりはありません。</p> <p>また、認知された全てのいじめ案件は、発覚後すぐに行方は止んでおり、3か月間の観察を経て解消したと判断しています。</p> <p>「いじめは、どの子どもにもどの学校でも起こり得るもの」という認識に立って、児童一人一人との教育相談や児童・保護者を対象にしたアンケート調査を定期的に行い、早期発見、早期解決に努めています。</p> <p>〈不登校について〉</p> <p>令和3年度の朝日小学校における児童1,000人あたりの不登校児童数は、越前町内においては平均的であり、全国の小学校に比べると大きく下回っています。令和4年度については、全国の調査結果が発表されていないので比較することはできませんが、その傾向に変わりはありません。</p> <p>校内には相談室を設け、教室に入りづらいつとを感じる児童が教員や支援員、スクールカウンセラーと学習したり、懇談したりして教室復帰を目指しています。</p>

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
4	<p>再編の進め方に関して課題を感じていることを述べます。今後予定されている常磐小校区の住民対象の説明会やホームページ等の公の場で、町教委のお考えを明らかにして下さい。</p> <p>(1) 合意形成を進める上での町教委と PTA 会長の関係のあり方について</p> <p>常磐小に限らず、今後町内多くの学校で再編を進めて行かれる予定になっています。どの学校区においても賛否が分かれて合意形成を進めていくのが難しい問題だと思います。PTA 会長や副会長も、当然一人の保護者として個人的な意見をお持ちだと思いますが、学校再編のように賛否が分かれる問題の合意形成においては、PTA 会長に保護者の意見のとりまとめを依頼したり、PTA 会長の個人的な意見を、保護者全体の意見とみなしてプロセスを進めることなどは、私は避けるべきであると考えます。そのような点から、令和 5 年度に入ってから町教委の進め方は大いに疑問が残るものに映ります。直近の流れでは、4 月末まで 3 校同時再編に向けて各地区と話し合いを進めていく、と繰り返し述べていたにも関わらず、糸生小 PTA 会長の個人的な意見だけを聞き、他の保護者や糸生地域の意思確認も何らしなないままで 3 校同時再編の方針を撤回し、令和 7 年度の常磐小のみの再編案を性急に提示されたのが最も引っかかっています。町教委は、今後他地区の学校再編においても今回の常磐小と同様、PTA 会長に保護者の意見のとりまとめなどの特別な役割を依頼したり、PTA 会長の個人的な意見を、学校区を代表する意見とみなしてプロセスを進めるような進め方を繰り返そうと考えておられるのでしょうか。それとも、今回の常磐小再編に関する上記のような姿勢はまずかったと反省材料にされているのでしょうか。その点に関する町教委の基本的な考え方を明らかにしてください。</p>	<p>今年 2～3 月の懇談会后、町の方に保護者数人の方から個別にご意見やご質問をいただきました。PTA 会長から、個別に対応するのでは保護者同士の意見の共有が出来ないということで、会長を窓口として一本化したいとお話をいただきました。また、本来教育委員会がやるべき意見の集約が出来ないことを見兼ねた会長が保護者アンケートを行い、集約に努めたいとの意見もいただきました。</p> <p>直近では、今年 1 月に永平寺町の志比北小学校と志比小学校の再編で、志比北小の PTA 会長が意見を集約した経緯もあり、お願いいたしました。</p> <p>教育委員会の力不足により PTA 会長にはご迷惑をおかけしたことを大変申し訳なく思っております。</p> <p>他の学校区では、PTA 会長に負担をおかけする状況にはなっていませんが、同様なことは考えておりません。また、前述にもありますとおり糸生小 PTA 会長の意見を学校区を代表する意見と考えてはおりません。</p>

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
5	<p>(2) 今回のオンラインアンケートが「記名式」である理由について</p> <p>今回の WEB アンケートを見た保護者の中に、フルネームで記名しないといけないなら本音を回答するのに勇気が必要だ、とおっしゃる保護者の方もおられました。皆さんそれぞれに地域でのお立場もおありでしょうから、記名した上で意見があれば述べよ、というやり方を町からの圧力に感じてしまうことも理解できます。回答した意見が、自分の氏名と共に公開・共有されてしまうのではないかと不安に感じてしまう方もおられるかもしれません。令和5年6月に提示した新しい案に対する賛否を問う上で、1家族1票に限定するために記名式にするというのであればまだ理解できないでもありませんが、それは問わないのですよね。せっきくのアンケートなので、町の新しい案に対する賛否も数値で見える化しながらプロセスを進めていただきたかったです。記名式にした意図、しないといけない理由について説明をお願いします。</p>	<p>基本的には、説明会や懇談会、教育委員会へのお問い合わせについては、お名前を頂いております。中には匿名でのご意見もありますが、とりとめのない意見であったり、対応しづらい意見も多くあります。せっきく頂くのであれば、責任を持った意見を頂戴したいと考えております。お名前については、内部資料としておりますので公表することはもちろんありません。</p> <p>また、昨年四ヶ浦小学校で行いました保護者アンケートについても、記名式でお願いしご回答いただいております。</p>
6	<p>(3) 今回のオンラインアンケート結果のホームページ上での公表について</p> <p>今回のアンケートに関しては結果を共有しますとありますが、四ヶ浦小アンケートと同様ホームページ上での公開を求めます。町内で最初の再編である常磐小再編の進め方や合意形成のプロセスに関して、他の小学校区の保護者や町民が正確に知ることができ、また検証ができるようきちんとアンケートの設問や寄せられた回答に関して（町の都合で要約することなく）全文を公開して下さい。再編を進めていく上で情報公開は大切だと思います。</p>	<p>今回の意見の内容を要約せずに全文を公開するには、詳細な内容すぎるものであり一定のまとまりを持った形で掲載すべきであると思います。また、個人の特定に繋がる恐れもあり、保護者全員の了解を得ておりませんので現時点ではホームページ上での掲載は考えておりません。</p>

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
7	<p>(4) 複式学級では協調性がはぐくめないとする理由について</p> <p>教育委員会が、複式学級では協調性がはぐくめないと説明されて(令和5年3月9日の記録)いますが、その根拠をいろいろ調べても私では見つけることができませんでした。どのようなエビデンスに基づいてそのような発言をされたのか、その元の資料をお教えてください。ちなみに常磐小学校の令和4年度学校関係者評価書には、「ときわっ子は必ず一人一人が起案・計画・実践・成果といったことを体験できる。周りの児童も一緒に考えより良いものができるといった機会が多く、小規模校ならではの体験であり共同(動)・協調といったことにおいては特出している」とあります。教育委員会がおっしゃる協調性がはぐくめないというのは何に基づいてのご発言なのでしょうか。</p>	<p>これまで、教育委員会が「複式学級では協調性がはぐくめない」と説明した記録はありませんが、おそらく当初の説明会の中で、学習指導要領が改訂されたことによる、「主体的・対話的で深い学び」の手段として、複式学級を解消し一定規模での学校の学びが必要であることの説明の中で、そのように感じられたと思います。</p> <p>令和2年度から改訂された新学習指導要領では、～全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと 協働的な学びの実現～を柱としています。GIGAスクール構想(ICTの活用)の加速など、急激に変化する時代の中で「なにができるようになるか」育むべき資質・能力を育成する、令和の学校教育の時代となっております。一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら多様性を尊重し互いの良さ生かして協働する力が必要となります。具体的な手段としては、グループディスカッションやグループワークなどの活動を通して育成するとされています。</p> <p>常磐小学校はご意見のとおり小規模校ならではの素晴らしい教育をしておりますし、悪いとは考えておりません。大袈裟化かもしれませんが、近年の情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて進展するようになってきている時代に対応していく「協調性」を育んでいただきたいと思います。</p>

No	寄せられた意見の概要	教育委員会の考え方
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月再編後すぐに修学旅行では、子どもの心情を考えると不安のほうが大きい。今後も思い出として残るためには仲良くなる期間を考え、春ではなく秋にするのがよいと考えます。</li> <li>・ 私の子どもは関係ない部分もあるけれど、みんな仲良くはなかなか難しいと思うので、気が合うような仲間を探して配慮できる対応をしてほしい。</li> </ul>	<p>ご意見のような諸問題はこれから多く出ると思います。学校の先生方を含めて良い解決策を出し合って決めていきたいと思います。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常磐小の教育環境が朝日小でも継続できる保証はあるのか。</li> </ul>	<p>学校規模が違いますので常磐小学校と違った良い環境になると思います。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再編に対して保護者の意見もだが、地域住民の声も聞くべきだ。</li> </ul>	<p>保護者の理解をいただければ地域の方々とお話しさせて頂きたいと思います。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常磐小の同級生と同じクラスにしてほしい。</li> </ul>	<p>ご意見のような配慮は必要だと考えます。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールバスを出すか出さないかの話がどうなったのか。スクールバスを出してもらわないと困る。</li> <li>・ バスの乗り降りは団地で2世帯しかないので、家のすぐ近くまで来てくれると安心して見送れる。（常磐小でバスの乗り降りをする場合、道を渡るので危ないと思う）</li> <li>・ スクールバスがどうなるのか。</li> </ul>	<p>再編された場合の常磐小学校区の児童は全てスクールバス通学になります。具体的なルートや乗降場などは準備委員会などで詰めていきます。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後の児童クラブは利用できるのか。そこは何時まで見てもらえるのか。</li> </ul>	<p>あさひ児童館の児童クラブを利用できます。午後6時までとなりますので、お迎えをお願いします。</p>